

報道関係者の皆様へ



雲南市

情 報 提 供		
令和 7 年 10 月 2 日(木)		
担 当 課 (担 当 者)	教育委員会社会教育課 (村 上)	
電 話	0854-40-1073	
F A X	0854-40-1079	

Press Release

送付文書 2枚(本状のみ)

開催日: 10/14 (火)

IBSA ロービジョンフットサル世界選手権 2025

日本代表選出者 ^{ふじはら こうせい} 藤原 昊世さん市長表敬訪問について

本件のポイント:雲南市在住の藤原昊世さん(松江農林高校 3 年生)が、11月にトルコで開催される世界選手権の日本代表選手に最年少で選出され、出場報告のため市長を訪問します。

内 容

11月6日(木)~16日(日)にトルコ・アンタルヤ(会場詳細未公表)で開催される「IBSA ロービジョンフットサル世界選手権 2025」に日本代表として出場する雲南市在住の藤原昊世さんが、出場報告のため下記の日程で市長を訪問します。

日 時: 令和7年10月14日(火) 14時00分~(30分程度を予定)

場 所: 雲南市役所 3F 応接室

参加者: ^{ふじはら こうせい} 藤原昊世さん(松江農林高校 3 年生)

雲南市長 石飛厚志

雲南市教育委員会教育長 小田川徹哉



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり

雲南市

○藤原昊世さんについて

- ・大東町出身。6歳のとき進行性の網膜疾患の診断を受け、両眼とも視力低下・視野異常がすすんでいく。
- ・小学校2年生のとき大東ジュニアフットボールクラブに入団してサッカーをはじめ、大東中学校時代からサッカー部に所属し、高校進学後もサッカー部へ。
- ・高校1年生のときにロービジョンフットサルと出会い、関東のクラブチームに加入。
- ・高校2年生のとき、選考会へ参加。トライアルを受け、「特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会」のロービジョンフットサル日本代表強化指定選手に選出される。

・今年 8 月、11 月にトルコで開催される世界選手権の日本代表選手に最年少で選出される。

○「視覚障害者サッカー」について

「見え方」に応じてルールが設計されており、「ブラインドサッカー」と「ロービジョンフットサル」の 2 つのカテゴリーがあります。今回藤原さんが出場するのは、このうちの「ロービジョンフットサル」になります。

(1) ブラインドサッカー

全盲カテゴリー (B1) とされ、アイマスクを装着し、転がると音の鳴るボールでプレーする 5 人制のサッカー。

(2) ロービジョンフットサル

B2・B3カテゴリーの弱視 (ロービジョン) 者が、1 人ひとりそれぞれの見え方を補い合いながら、声掛けによる連携を活かしプレーするフットサル。アイマスクは装着せず、通常のフットサルボールを使用する。

*B1 …… 全盲から光を感じられるまで

*B2 …… 矯正後の視力が 0.03 まで、または視野 5 度まで

*B3 …… 矯正後の視力が 0.1 まで、または視野 20 度まで



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市